

2023-24年度 朝岡会長テーマ -みんな 楽しく 仲良く そして未来へ-
第 3133 回例会 令和 6 年 2 月 27 日(火) 天気:晴 No.25

2023-24年度
RIテーマ



世界に希望を生み出そう



会長 / 朝岡 正 幹事 / 松田茂治

クラブ会報委員 金原健志 / 本田正則 / 大内基浩 / 宍戸秀隆

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL:0563-54-7770 FAX:0563-54-7050 URL:<https://www.nishio-rotary.org>

【本日のプログラム】

司 会 杉田武男例会運営委員長

斉 唱 「奉仕の理想」

食 事 かん田

スピーカー 一般財団法人 言語交流研究所ヒッポファミリークラブ

中部事務所長 村田幹雄氏 「明日から実践できる多言語生活」



【会長挨拶】



JAXAの月面着陸成功の話の続きです。前回も話しましたが、直径8cmのソラキューという月面を探索するためのカメラが内蔵されています。着陸寸前に放出して月面に落ち、カバーがパカッと開いてカメラが表れ、撮影した映像を地球に送信します。興味深く調べたら、タカラトミーが協力して製作していますが、昨年9月からほぼ同じ機能のものを販売しているそうです。27500円だったので、ここで披露しようと思いましたが完売で現在購入することはできず、再入荷の通知を待っています。また、携帯アプリを通じて操作できるようで、月面探索モードもあるようです。但し、おもちゃなので「外では使わないでください。月面では使えません。」と書いてあるそうです。手に入ることがあれば、再度紹介させていただきます。

【委員会報告】

〈出席委員会〉本多 淳委員長

本日の出席数 61名

欠席数 9名

出席率 87.14%



委嘱状交付

立法審議委員会 委員	田中正規君
地区諮問委員会 委員	
危機管理委員会 委員	三浦眞澄君
会員増強委員会 委員	谷崎直樹君

〈スマイルボックス委員会〉谷崎直樹委員長

朝岡 正君 ヒッポファミリークラブ 村田様「明日から実践できる多言語生活」宜しくお祈いします。岩崎夫人も宜しくお祈いします。

松田茂治君 村田幹雄様ようこそ西尾RCへ。宜しくお祈い致します。

岩瀬淳治君 村田所長様、本日はお忙しいところ有難うございます。

三河安城RC 横山智則君 先日のIMの帰り、知立駅でWBC栗山監督の掛けていた眼鏡と同じものを落としてしまいました。しかし西尾ロータリーメンバーの皆様のお陰で無事に戻ってきました。西尾ロータリーの皆様にロータリアンの友情を受け大変有難うございました。

山崎周彌君 西尾ゴルフ理事長再任。

岩崎智一君 先日の妻の誕生日にお花を有難うございました。また本日も妻もお世話になります。

小澤育史君 先週の木・金と出雲大社、玉造温泉、足立美術館、境湊の旅に行ってきました。大変良い時間を過ごす事が出来ました。前日の午後にギックリを発症しましたが、宍戸先生のお陰で無事なんとかなりました。RCのメンバーはありがたい。

岩瀬正広君 智一君誕生日に奥様と2人で参加羨ましいです。

杉浦義浩君 2/18神戸六甲アイランドで開催された20km競歩日本選手権において愛知製鋼の丸尾さとし君が自己ベストを35秒更新 パリ五輪派遣認定タイムをクリアし6位入賞しました。4月トルコアンタルヤで開催される世界競歩チーム選手権への出場権を取得しました。

浅岡直幸君 山崎周彌さん、杉浦義浩さん夫婦ともどもお世話になりました。有難うございました。

谷崎直樹君 地区次年度増強委員として女性の集いに参加して来ました。

【卓話】

一般財団法人 言語交流研究所ヒップファミリークラブ 中部事務所長 村田幹雄氏 「明日から実践できる多言語生活」



一般財団法人言語交流研究所は多言語習得を目指す活動を行っています。当研究所が運営するファミリークラブは1981年に設立され、40年以上の歴史があります。理念は、様々な言語を話す人々との友情を育み、家族や地域全体で交流を行うことです。昨日の日経新聞や今朝のラジオでも、当研究所の共同研究が取り上げられました。赤ちゃんの言語習得を大人が体験することで、言語習得のメカニズムを理解し、脳科学的にも探求する研究です。2016年から始まった研究は、2021年に論文が発表され、今日もメディアで取り上げられています。脳科学の実験では、英語と日本語だけの人や多言語を話す人など、異なる言語を話す参加者が、全く知らないカザフスタンの言語を聞いて、脳がどのように反応して習得していくかを研究しました。今回、数日で文法構造を獲得することが、脳の反応をリアルタイムで観察することで初めて実証されました。言語を学ぶことが人々の生活にどのような影響を与えるかを身近な例で説明すると、外国語が苦手だった看護師が少し多言語に触れていく中で、外国人患者に接し、コミュニケーションを取ることで仲良くなれたという経験をしています。さらに、営業マンが多言語を学ぶことでコミュニケーション能力が向上し、人への興味が広がりました。多言語を扱う人は数学的思考や類推、発散的思考能力に優れ、知的成長に寄与するという研究成果や、何歳からでも、どんな言語でも習得可能で、2言語以上の習得者は知的年齢が10年以上伸びるという研究成果もあります。ではここで、ヒップで活躍する2人から話を聞いてみましょう。



西尾でヒップファミリークラブの活動をしている岩崎です。今朝とても素敵なお蝶蘭を受け取りました。RCの皆様、いつも温かいお心遣いをありがとうございます。西尾市では毎週2回、多言語の活動をしています。0歳から80歳を超える方までのメンバーで、多世代で多言語を楽しんでいます。ホームステイの受入も積極的に行っています。私たちは常に環境を作って、人と出会う中で、言葉も心も年齢も関係なく一緒に育みあっています。



名古屋工業大学の学生です。幼稚園の頃から活動に参加しており、物心ついた時から多言語に触れ、たくさんの異文化の経験を積み重ねてきました。ロシアやアメリカ、メキシコなどへの留学経験を通じて、その国々の実際の生活や文化を知ることができ、予想と異なる素晴らしい体験をしました。特にメキシコでの留学中には新しい挑戦に取り組みました。エアリアルダンスや演劇、教会でのミサでギターを弾くなど、さまざまな経験を積みました。留学経験を通じて、人前で話すことへの抵抗が減り、自信ができました。将来の目標は、日本や世界の発展途上国での社会基盤やインフラ整備に携わり、より快適な街を作ることです。この目標が持てたのも、これまでの国際交流や海外経験があったからです。今後も、さまざまな環境で生活し、新しい発見をし続けたいと思っています。

言語には伝達、認識、連帯という3つの役割があります。言語はコミュニケーションツールであり、認識や思考を可能にします。また、言葉を通じた挨拶やコミュニケーションは、人とのつながりを生み出す連帯の手段でもあります。言語に対する興味や関心は、他者とのつながりを深める重要な要素です。意識教育では、言語への興味や関心を育むことが重要視されています。言語に無関心な状態は、他者への無関心と同じであり、異文化を理解し、他者とのつながりを深めるためには、さまざまな言語に触れる機会を提供する必要があります。多言語の生活を送ることは、異文化への理解を深めるだけでなく、他者とのコミュニケーションや繋がりを生み出すための重要な手段です。日常生活の中で多言語を積極的に取り入れることで、より豊かな人間関係や文化交流を築いていくことができます。

